

| 令和8年度までの目標 | 国語 | | 算数・数学 | |
|------------|-----------|-----|-----------|-----|
| | 自校A B層の割合 | 50% | 自校A B層の割合 | 40% |

| 目標達成に向けた取組 | | | |
|---------------------------|---|---|--|
| 3つの観点 | 教員の指導力向上 | 基礎学力の保障 | 学習習慣の確立 |
| 学校全体の取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・「めあて」と「まとめ」を毎時間必ず示す。 ・「前時のふりかえり」を行い、本時の意欲につなげるとともに、授業の終わりに「本時のふりかえり」を行い、次時への意欲につなげる。 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業展開の手順である「つかむー考えるーかかわるー深める」を共有し、授業を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・基礎計算力を高めるための3分間で行う計算プリント「がんばルンバ」を、実施する（2年生以上） ・授業や宿題で「ドリルパーク」を活用し、既習事項の定着を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・年に5回、学校全体で計算力を競う大会「がんばルンバ選手権」を行い、成績上位者を表彰する。 ・江戸っ子Study week年3回にて、ドリルパークへの取り組みを確認し、個別指導を行う。 ・毎学期の始まり時に「家庭学習強化週間」を実施し、保護者に協力を求めながら家庭学習の習慣の確立を図る。 |
| 特に支援が必要な児童・生徒への手立て | <ul style="list-style-type: none"> ・児童自身が自己の力に応じた課題や解決方法を選べるように、複数の課題や手だてを用意する。 ・児童の実態に応じた課題を個別に設定し、「できた」という達成感を味わわせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な問題から取り組ませて自己肯定感を高めるとともに、つまづきを発見し、戻って指導する。 ・放課後補習教室を活用し、既習事項への定着を図らせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・家庭と連携し、「ドリルパーク」を毎日必ず10分間程度（個に応じる）取り組ませ、家庭学習強化週間には実施状況をカードに記録して意欲づける。 |
| 成果指標 | <ul style="list-style-type: none"> ・「ドリルパーク」の活用状況年間2000ポイント以上。 ・学校独自の児童アンケートにおいて、「授業の内容がよくわかりますか」の肯定的な回答割合が80%以上 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校独自の児童アンケートにおいて、「毎時間振り返りを行っている」「めあてとまとめを書いている」の肯定的な回答が80%以上 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校独自の児童アンケートにおいて、「授業時間以外の勉強時間が30分以上」の回答割合が80%以上 |